



④ 東海自然歩道 大野寺・室生寺コース

宇陀市ハイキングマップ

大野寺 - 室生山上公園 - 室生寺 (約 6.2 km)

コースは道標が整備された東海自然歩道。急坂は少なく家族で十分に楽しめる。林道は土が掘られ石がごろごろしているところもある。石畳の箇所は滑りやすいので足下に注意。オプションコースはバス道に沿った起伏のない舗装道を進む。室生川の清流沿いに静かな山間が続く。

室生寺

奈良時代末、東宮(後の桓武天皇)の病氣平癒を願った興福寺の名僧賢憬が創建。現在の寺観を整えたのは賢憬の弟子修円の時代。一説には天武天皇の発願により役小角が創建し、弘法大師空海が再興したとも伝えられている。創始期の姿が見られる唯一の山地寺院として、天平の息吹を伝える堂宇が散在し、国宝の釈迦如来立像・十一面観音像・釈迦如来坐像をはじめ、仏像や寺宝はどれも超一級の文化財である。弘法大師が一夜にして建立したと伝承される国宝五重塔は屋外のものでは国内最小。また、石楠花に代表される花の寺としても知られており、空海の開いた女人禁制の高野山に対し、女性の参詣を認めたため「女人高野」と呼ばれている。

オプションコース

島ヶ谷橋トンネル



大野寺

本堂の弥勒菩薩立像の脇に立つ重要文化財の木造地藏菩薩立像は「身代わり地藏」と呼ばれ、無実の娘を火あぶりの刑から救ったという伝説が残っている。対岸の岸壁に刻まれている総高13.8m、日本最大級の弥勒磨崖仏は、鎌倉時代に後鳥羽上皇の勅願で造立されたもので、史実がはっきりしており、史跡に指定されている。西光寺の桜から分植されたとも言われる枝垂れ桜でも有名。

室生山上公園 芸術の森

環境芸術の世界的第一人者のダニ・カラヴァン(1930~)が意匠し、外界と隔絶された約8haの空間全体が芸術作品。太陽の道(写真家、小川光三氏命名)と呼ばれる軸線によって室生寺や伊勢、三輪山ともつながり、光と影、自然と前衛的なモニュメントが織りなす不思議な空間は、まさに現在の聖なる場所「アルカディア」と呼ぶにふさわしい。

全行程 約 6.2 km (オプションコースは約 6.7 km)
室生口大野駅 -1.5- 分岐点A -2.8- 門森峠 -0.4- 室生山上公園 -1.3- 室生寺 -0.2- 室生寺バス停